



記者発表資料

(県政)



提供年月日：令和8年(2026年)5月25日

部局名：琵琶湖環境部

所属名：琵琶湖保全再生課

係名：琵琶湖レジャー対策係

担当者名：深見

連絡先(内線)：077-528-3485 (3486)



デジタル募金箱「びわぼち」

を令和8年6月1日から開始します！

内容

琵琶湖を訪れた方や琵琶湖に思いを馳せる方が、PayPayを使って気軽に寄附ができる少額寄附制度。※本事業は寄附控除対象外

QRコードを読み込み、任意の金額を入力、送金することで寄附ができます。

※「QRコード」は、(株)デンソーウェーブの登録商標です。

寄附金活用メニュー

- ① みんなが心地よく過ごせる、水辺の環境づくり（啓発看板やブイの維持管理等に活用）
- ② 琵琶湖の美しい景観を守る（湖岸の清掃活動・ヨシ群落の維持管理に活用）
- ③ 琵琶湖とその周辺の豊かな生態系サイクルを次世代へ（生き物を育む環境づくり等に活用）
- ④ うおーたんにおまかせ（①～③に分配）

今後の予定

■デジタル募金箱「びわぼち」設置イベント

日時：6月1日（月）10:00～10:15

場所：ヤマハマリーナ（大津市下坂本5丁目2-2）

出席者：ヤマハマリーナ担当者、うおーたん

■デジタル募金箱「びわぼち」スタートセレモニー

時間：6月1日（月）16:30～16:45

場所：滋賀県公館

出席者：PayPay株式会社、滋賀県 ※出席者調整中



滋賀県イメージキャラクター
琵琶湖の水の妖精 うおーたん

背景・経緯

- 琵琶湖の活用に伴う適切な負担の検討として、湖面利用にかかる課税（レジャー利用税）については、これまでも検討されてきたところですが、課税客体の把握や課税コストの面から、実現が困難となっております。
- 一方で税制度に限らず、様々な立場の方に自主的に負担・貢献していただきやすいよう、「滋賀応援寄附」において琵琶湖の保全再生のための寄附メニューとして「美しい琵琶湖を守ろう」を令和3年度に導入しました。
- 更なる取組を具体化するよう、令和8年度から開始する琵琶湖の保全再生を目的とした寄附（協力金）等について、令和8年3月改正の琵琶湖レジャー利用適正化基本計画に盛り込み、より気軽に寄附できる仕組みとして、QRコード決済を利用した協力金事業「びわぼち」が誕生することとなりました。

設置場所（令和8年6月1日時点）※順次、拡大予定

有限会社蓬莱マリーナ（大津市南船路 121-2）
ヤマハマリーナ株式会社（大津市下坂本 5丁目 2-2）
株式会社長龍マリーナ（近江八幡市中之庄町 1075）
有限会社ジェットスキープラザ L&B（大津市北比良カヤ 934）
有限会社イワキプランニング（高島市今津町浜分 30-1）
セーリングスポットワニ（大津市和邇南浜 364）
マリーナリゾート ロータリーピア 88（大津市苗鹿 3丁目 12-1）
株式会社 マリーナ雄琴（大津市雄琴 5丁目 10番 56号）
志賀観光協会事務所（大津市木戸 130-3）
Rcafe（大津市北比良 934-1）
ASOBIWA HIRA BASE（大津市北比良 934-2）
オーミマリン 彦根港支店（彦根市松原町 3755）
滋賀県立琵琶湖博物館（草津市下物町 1091）
滋賀県庁執務室内（琵琶湖保全再生課、循環社会推進課、生物多様性保全課、農政課）
（大津市京町四丁目 1番 1号）